

養南新聞

発行所 社会医療法人緑峰会 養南病院
〒503-0401 海津市南濃町津屋1508
☎(0584)57-2511 Fax(0584)57-2513
http://www.younan.or.jp
younan@ogaki-tv.ne.jp

おいでんさい祭開催!!



雨にもかかわらず大勢の人が 移動するみかろん

アメニモマケズ

11月9日(日)第16回 おいでんさい祭(馬淵哲哉実行委員長)が養南病院グラウンドにて開催された。3年連続の雨模様となったが患者、家族、スタッフ、地域住民など約800人が訪れ、特設ステージのイベントや模擬店などを楽しんだ。模擬店の売り上げの一部や、職員が持ち込んだ不用品バザーなどの売り上げなど計15万5750円が東日本大震災義援金に寄付された。また開院30周年を記念



やらせのアンコールに控え みんなで盛り上がる

養南芸能部も初参加

最後にはスタッフによる「みかろんショー」が華やかにステージのラストを飾った。今回ほりゆみず新メンバーに抜擢されたセンターを務めた看護師の長谷川ひとみさん(46)は「楽しかった。やみつきになるわ」と肩で息をしながら興奮気味に語った。

病院探険隊 「待合室」

今日は外来へ来たような。施設管理課の天野準子さんが案内してくれるような。いつもきれいな花が飾ってありますね。「外来は病院の『顔』ですからいつもきれいにしておかないと。」まるで天野さんみたいですね。「そうですね。他にもカフェテリアや病棟も花で飾っています。」否定はしないような。生け花の免状をお持ちとか。確か、でくのぼう

家族教室

11月16日(日)恒例の家族教室が開催された。今月は統合失調症の家族を対象に林昌吾作業療法課長が講演。「よりよい暮らしのために」と題し、リハビリの視点から入院や外来で可能なサポートについて解説した。

タイムマシンに乗って

「創立記念日」11月30日は養南病院の創立記念日だ。今年も記念式典と永年勤続表彰が行われた。写真は30年前の竣工式の様子。中央丸刈りの美少年は現院長の道晴氏、当時中学2年生だ。「この時、先代のよう志を持った医者になりたいと思いました。」とのことだが、30年前の美少年も「最近の悩みは先代のように猫背と白髪が目立ってきたこと。」と笑い、ストレッチと白髪隠しに余念がない。

食へのこだわり

「豚汁」おいでんさい祭の屋台で、給食でも人気のメニュー「豚汁」が無料で振る舞われていた。あいにくの雨天で気温も低かったせい、来場者の体を芯から温める豚汁は、用意した千食が瞬く間に終了した。冬の訪れを感じるこのメ

12月の家族教室

第一部「よりよい暮らしのために」講師：O.T林昌吾、PSW菅沼裕貴、管理栄養士丸山一代
日時：12月21日(日) 14時～16時
場所：デイケアセンター
対象：気分障害患者様のご家族

勉強会 ②

11月17日(月)「ノロウイルスの感染症対策」の研修会が開催された。講師をつとめた吉野久美子看護部長は「ノロウイルスはこれからの発症のピーク。とにかく予防の基本をスタッフ一人一人がしっかりと身につけることが重要。」と話した。

みかろん

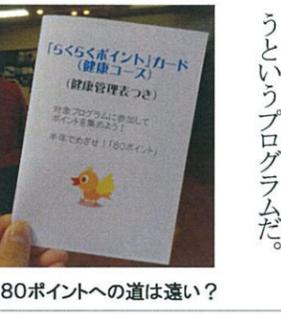
ねえねえ 最近みかろん臭くないですか？
あ、みかろんは雨に濡れてカビちゃったのかな？
ええ、腐ったみかろんになっちゃいますか？
それって、周りも腐らせるのよ？
みかろん！ 防カビ消臭剤買ってくるから待っててね！
あ、忘れてたような

デイケア新プログラム続々!

家庭の味を食卓へ「夕食作り」
偏った食生活の改善と料理のスキルアップを目的に始まったこの企画。講師を務めるのは主婦歴10年のベテラン看護師たち。この日の担当は北病棟の久留宮由美子さん。冷蔵庫の材料を見て牛肉と牛蒡の炊き込みご飯とふるふき大根と金平を皆で作った。「孫十人の弁当作ってたんだもの。軽いもんだわよ。」と久留宮さんは話す。このプログラムは毎週(火)(金)(土)に実施。米一合とエプロンを持参すれば誰でも参加できる。

ポイント貯めて健康をゲット

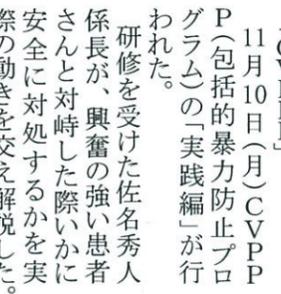
11月から、「らくらくポイント健康コース」がスタートした。「運動・健康」をキーワードにエクササイズやスポーツ等のプログラムに参加して半年間で80ポイントゲットを目指すというプログラムだ。



80ポイントへの道は遠い？

勉強会 ①

11月10日(月)CVP P(包括的暴力防止プログラム)の「実践編」が行われた。研修を受けた佐名秀人係長が、興奮の強い患者さんと対峙した際に安全に安全に対処するかを実際の動きを交え解説した。



興奮する大橋課長を制す看護師

劇団員募集

この想い君に届け
平成26年12月2日(火) 13日(土) デイケア

私の自慢

栄養課の水谷慎輔係長は家事と育児を行うお父さん、いわゆる「イクメン」だ。保育園への送り迎えは当たり前、調理師という仕事柄、夕食作りはお手の物だ。「仕事を理由に家庭を大切にしないのは男じゃありません。」と熱く語る。遠足には流石の「キャラ弁」を作ると子どもを喜ばせているとのこと。しかし、これらは全て本人の話で「そんなキャラだったか？」と疑問の声も。

リハビリの小窓

「音楽大学」このプログラムは「おんがく」が中心で、おんがくだけでなく、「おんがくがく」と読む。講師は音楽療法士の日比祐子先生。音と共に声や体を使って楽しむこの時間、人気プログラムだけにホールは常に超満員。音を利用し自然に動きや表情を引き出していく日比先生の前には笑顔が印象的だ。

勉強会

11月2日(日)海津市の産業感謝祭にみかろんがおいでんさい祭の特任宣伝部長として出張した。しかし思ったほどブースには人が集まらず、配布できたチラシはわずか4枚。「お役に立てなかったよう。」としよげるみかろんに「知名度ゼロではなんとかならないか。」と同行した澤田真名美マネージャーはバツサリ切り捨てた。

家族教室

11月16日(日)恒例の家族教室が開催された。今月は統合失調症の家族を対象に林昌吾作業療法課長が講演。「よりよい暮らしのために」と題し、リハビリの視点から入院や外来で可能なサポートについて解説した。

タイムマシンに乗って

「創立記念日」11月30日は養南病院の創立記念日だ。今年も記念式典と永年勤続表彰が行われた。写真は30年前の竣工式の様子。中央丸刈りの美少年は現院長の道晴氏、当時中学2年生だ。「この時、先代のよう志を持った医者になりたいと思いました。」とのことだが、30年前の美少年も「最近の悩みは先代のように猫背と白髪が目立ってきたこと。」と笑い、ストレッチと白髪隠しに余念がない。

家族教室

11月16日(日)恒例の家族教室が開催された。今月は統合失調症の家族を対象に林昌吾作業療法課長が講演。「よりよい暮らしのために」と題し、リハビリの視点から入院や外来で可能なサポートについて解説した。

勉強会

11月17日(月)「ノロウイルスの感染症対策」の研修会が開催された。講師をつとめた吉野久美子看護部長は「ノロウイルスはこれからの発症のピーク。とにかく予防の基本をスタッフ一人一人がしっかりと身につけることが重要。」と話した。

勉強会

11月2日(日)海津市の産業感謝祭にみかろんがおいでんさい祭の特任宣伝部長として出張した。しかし思ったほどブースには人が集まらず、配布できたチラシはわずか4枚。「お役に立てなかったよう。」としよげるみかろんに「知名度ゼロではなんとかならないか。」と同行した澤田真名美マネージャーはバツサリ切り捨てた。

自ら子供に近寄り嫌がられるみかろん